

## V. 理学療法診療ガイドライン第1版（2011）策定組織

（敬称略，2011年10月現在）

### (1) 担当理事, 部会長, 部長

担当理事	内山 靖	（社団法人日本理学療法士協会／副会長）
担当部会長	鈴木 重行	（社団法人日本理学療法士協会／ガイドライン特別委員会 理学療法診療ガイドライン部会長）
担当部長	長澤 弘	（社団法人日本理学療法士協会／専門領域研究部長）

### (2) 疾患・領域, 班長

1. 背部痛	鈴木 重行	（名古屋大学）
2. 腰椎椎間板ヘルニア	伊藤 俊一	（埼玉県立大学）
3. 膝前十字靭帯損傷	川島 敏生	（日本鋼管病院）
4. 肩関節周囲炎	立花 孝	（信原病院）
5. 変形性膝関節症	木藤 伸宏	（広島国際大学）
6. 脳卒中	吉尾 雅春	（千里リハビリテーション病院）
7. 脊髄損傷	神沢 信行	（甲南女子大学）
8. パーキンソン病	望月 久	（文京学院大学）
9. 脳性麻痺	中 徹	（鈴鹿医療科学大学）
10. 糖尿病	太平 雅美	（信州大学）
11. 心大血管疾患	松永 篤彦	（北里大学）
12. 慢性閉塞性肺疾患	千住 秀明	（長崎大学）
13. 身体の虚弱（高齢者）	古名 丈人	（札幌医科大学）
14. 下肢切断	大峯 三郎	（九州リハビリテーション大学校）
15. 地域理学療法	金谷 さとみ	（菅間記念病院在宅総合ケアセンター）
16. 徒手の理学療法	板場 英行	（川田整形外科）

### (3) 総務

岩田 全広	（日本福祉大学）
井上 貴行	（名古屋大学医学部附属病院）

### (4) 協会事務局

西山 花生里	（社団法人日本理学療法士協会）
矢島 紗由美	（社団法人日本理学療法士協会）
新谷 奈々	（社団法人日本理学療法士協会）

## 編集後記

理学療法診療ガイドライン（以下、診療ガイドライン）第1版（2011）がようやく完成しました。平成21、22年度の2年間で第1版（2011）を完成させる予定でしたが、現実には甘くありませんでした。全16班の班長を中心として班員の先生方の献身的なご努力によって、各班の診療ガイドラインを作成して頂きましたが、協会の刊行物として世の中に出ることを考えると、書式統一の作業が必要でした。

本診療ガイドラインでは「理学療法評価（指標）」の推奨グレードと「理学療法介入」の推奨グレードとエビデンスレベルの基準、アブストラクトテーブルあるいは文献記載の書式、等について、全体会議席上あるいは診療ガイドライン総務よりのメール等で確認し全体の整合性を図りました。しかしながら、現実には、各班からの最終原稿を受け取った後に、膨大な時間を費やして、急遽、診療ガイドライン総務だけでなく、以下の先生方にも詳細な編集・修正作業をボランティアでお願いすることになりました。これらの先生方のご協力によって、本ガイドラインが完成したと言っても過言ではありませんので、ご協力して頂いた先生方のお名前をここに記載させて頂きます。坂野裕洋（日本福祉大学）、土田和可子（日本福祉大学）、平川倫恵（名古屋大学大学院医学系研究科）、松尾真吾（名古屋大学大学院医学系研究科）（敬称略）。

協会では初めての理学療法診療ガイドラインの作成でしたので、予想を超える出来事が多くありました。診療ガイドラインを作成して頂いた各班の先生方はその責任感からお忙しい中、こちらからの要望事項に辛抱強く答えて頂きました。ここに改めて心より感謝申し上げます。また、査読をお願いした諸先生方をはじめ内山靖協会副会長、長澤弘専門領域研究部長をはじめ、協会担当事務の方々にも感謝申し上げます。

本診療ガイドラインが今後、改変・充実するための基礎となるとともに、理学療法を提供する会員および医療関係者に有益な情報源となり、患者様に還元されることを祈念しております。

ガイドライン特別委員会 理学療法診療ガイドライン部会  
部会長 鈴木 重行



社団法人 日本理学療法士協会

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 3-8-5

**【代表】**

TEL 03(5414)7911

FAX 03(5414)7913

**【診療ガイドライン関係】**

TEL 03(6804)1440

FAX 03(3401)5961

E-mail [jpta@i.bekkoame.ne.jp](mailto:jpta@i.bekkoame.ne.jp)